
金利がマイナスって
何言っているの？

先週の日銀政策金融会合で
マイナス金利が発表されました。

しかし意外と、
マイナス金利のことを
理解している人が少ないようなので、
今回解説をしてみたいと思います。

まず、マイナス金利が設定されたのは、
皆さんの預金口座ではありません。

一般市民の銀行口座に、
マイナス金利が設定されると、

お金を預けたのに、
お金を取られてしまうので、
誰も預金したと思いません。
取り付け騒ぎが起きて、
タンス預金が増えるだけです。

実際に、マイナス金利が設定されたのは、
日銀の当座預金と呼ばれるものです。

一般の銀行というのは、
日銀のこの当座預金に、

お金を預けることができます。

銀行は日銀にお金を預けるだけで
日銀から利息を貰えるので、
非常に運用が楽になります。

しかし、日銀は、
預けられる預金額を
コントロールしています。

例えば資本1兆円の銀行は、
1,000億円まで日銀に預けられるよ！
という制限をしていたとします。

銀行側は、
1,000億円は黙っていても
利息が貰えるのですが、

9,000億円は
自分で運用しなければいけません。

日銀は景気が悪くなったら、
1,000億円の制限を
500億円まで下げるから引き出してね
と銀行にいいます。

そしたら銀行は500億円を引出し、
自分で運用をしなければならないので、
誰かに500億円を貸して、

それが市中に流れるのです。

そのような流れで、
日銀は銀行の預金口座をコントロールし、
市中に流れるお金をコントロールしています。

ここで、ようやく
マイナス金利の話です。

日銀は日銀の預金口座の金利を
マイナスに設定しました。

預金をしていると、
お金とっちゃうよ！！
ということです。

ですので、銀行側は、
日銀の預金口座からお金を引き出して、
その金額を自分で運用しなければ、
損をしてしまいます。

そのお金は市中に流れ、
その事によって、お金の巡りがよくなり、
景気がよくなることを期待して、
日経平均が急上昇しました。

これがマイナス金利の仕組みです。

欧州ではマイナス金利を
実施しても大きな効果はなく、

日経平均も発表後すぐに
500、600円上昇しましたが、
その後また下落傾向になっています。

どこまで、この金利政策が有効か、、、
今後の経済の動きに
目を離せませんね。。。